

■令和7年6月9日 【かなもじ1】

おはようございます。校長先生の声は皆さんの心に届いていますか？校長先生と目と目が合うと届きやすくなりますよ。

先週のお題、大宮西小のいいところを教えてくださいました。今回もたくさんのお答えをいただき、ありがとうございます。先生が楽しい、校長先生がやさしいなど、先生ネタも多く、またみんなが協力的というのもありました。特に印象に残ったのは「あいさつができる」というものです。そのとおりですね。そしてこの話は次のお題につながります。

今週の「いいところみつけたよ6」ですが、この間、校長先生がお客様といっしょに、皆さんがお勉強をがんばっているところなどを、みてもらいました。そのとき、廊下で出会った何人ものお友だちが、お客様に「こんにちは」「こんにちは」とご挨拶ができていました。お客様もすばらしいですねと、大いにほめていただきました。

6月18日は、全市公開授業で、たくさんのお客様がお見えになります。今回のように、しっかり挨拶ができるようお願いします。また今回授業をする6年生2組のみなさんも、大宮西小を代表して行うのですから、よろしくお願いします。

さて、人が気持ちを伝える方法は、どんな方法がありますか。この間お話しした表情などもありますが、言葉もありますね。世界の言葉でこんにちはを考えて

みましょう。アメリカでは？そうハローですね。中国では？ニイハオ！よく知ってますね。スイスではドイツ語ならグーテ、フランスではボンジュール、イタリアではチャオ、ネパールでは？ナマステ！さすが3年生、よくできました。

世界には3～8000のたくさんの言葉があります。しかしその中で文字のある言葉はわずかに400ほど。そう、気持ちを伝えるもう一つの方法が文字です。みなさんの身の回りの文字と言えば、何がありますか？

ひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字、まだありますよ。算数の授業で使う数字、そして点字などもありますね。

世界の言葉の中で、最も覚えるのが難しいのは？日本語と言われています。なぜでしょう。それは、さきほど見たように、たくさんの種類の文字を覚えられないからです。

では、ひらがな、カタカナ、漢字、一番古くからある文字は？

そう、漢字なのです。私たちが覚える順番とは逆なのです。では、漢字がどうやってできたのでしょうか？この写真、イラストをみてください。この動物はなんですか？そう牛ですね。では、この動物がどうやって「牛」という漢字になるのでしょうか？そもそも、なぜ漢字が必要になったのでしょうか？

「こうだったかも劇場！」

おお君「昨日、何食べた？」

みや君「牛丼！」

おお君「牛丼って何？」

みや君「牛のお肉やん！」

おお君「牛ってなに？」

みや君「これやん」といって牛のイラストを描きました。

そして次の日

にしさん「昨日、何食べたん？」

みや君「牛丼！」

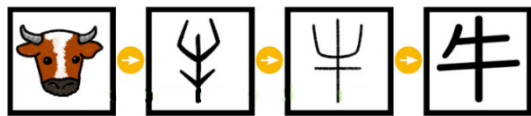
にしさん「牛丼ってなあに？」

みや君「牛のお肉やん！」

にしさん「牛ってなあに？」

みや君「これやん」といって、昨日とおなじように、牛のイラストを描きました。(あーしんど)

牛を説明するのに、いつもイラストを描くのは大変です。そこでみや君は「牛」の顔を簡単に描く方法を考えてみました。



このように、牛を毎回説明するのは大変なので、漢字という便利な文字が考えられました。このように簡単な感じはもののかたちや姿からできました。これを象形文字と言います。

では、今週のお題です。あなたの一番好きな漢字を教えてください。1年生はひらがなでもいいですよ。

今日も最後まで、静かに聞いていただき、ありがとうございました。